

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	さんぼく体験交流企業組合	所管課	山北支所産業建設 課
指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)	評価者(課長)	森山 治人

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	宿泊 3,487人、日帰り入浴 2,311人
サービス向上の取組	地域活動の交流拠点施設として、体験交流事業等を実施するとともに、研修・視察などの受入れや利用者に対しての地域情報の提供についても積極的に行っている。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	8,787	5,704	8,415	22,906	基本協定額:	8,415	千円
	利用料金	10,369	12,386	13,131	35,886			
	事業収入	213	171	267	651			
	自主事業収入	0	24	24	48			
	その他	210	0	0	210			
	収入合計 ①	19,579	18,285	21,837	59,701			
支出	人件費	10,238	9,973	11,835	32,046			
	福利厚生費	15	15	15	45			
	事務費	512	354	430	1,296			
	管理費	5,389	6,388	7,274	19,051			
	水道光熱費	2,149	2,774	3,260	8,183			
	修繕料	700	852	704	2,256			
	使用料・リース料	1,444	1,681	2,257	5,382			
	手数料・保険料	308	306	376	990			
	委託料	788	775	677	2,240			
	事業費	112	48	369	529			
	自主事業経費	0	0	0	0			
	その他	2,175	2,178	1,766	6,119			
支出合計 ②		18,441	18,956	21,689	59,086			
収支差額(①-②)		1,138	▲ 671	148	615			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	△	△	組合全体の財務状況が引き続き厳しい状況にあるため、収入確保に向けた事業を実施し、負債減少を進める必要がある。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎: 協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○: 協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△: 協定等の内容に対し、一部不履行がある ×: 協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー: 該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)指定管理業務実施上の課題	新型コロナ禍を経て宿泊客数が徐々に回復してきているが、依然コロナ禍前の入込客数・売上に至っておらず、資金繰りに苦慮している。(自主事業の食堂についても同様)
(2)課題解決に向けた取組	・利用者の増加に向けて、SNSやホームページ等を活用して定期的な情報発信をしていく必要がある。インターネットによる宿泊予約者数も徐々に増えてきているが、宿泊客獲得に向けた事業展開(体験メニューの充実など)を随時行っていく。 ・組合の資金繰りを安定化させるために、商工会・金融機関・市の指導により財務状況を精査し改善していきたい。
(3)その他	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 特になし
	②その他 特になし

4 全体的な評価

(1)指定管理者の評価	経営改善に取り組んだ結果が徐々に実を結び、令和5年度の収支は黒字になったが、自主事業分の赤字の額が指定管理事業の黒字分よりも上回り、組合全体として単年度黒字には至らなかった。施設設置の目的に合った客層の獲得に向けて、情報発信や営業活動を積極的に行い、利用者数・売上額をコロナ禍前の水準に戻す取組を継続していきたい。
(2)施設所管課の評価	施設利用者が安全に快く利用できるように、日頃より適正な維持管理作業を実施しており、利用者からの苦情等もなく、施設の維持管理については良好であった。R4年8月の豪雨水害による溪流釣り客の減少や酷暑による移動制限により宿泊者数が伸び悩んだ点は仕方がない面もあるが、指定管理者の財務状況改善を目的とした取組を徐々に実施し、利用者獲得に努められていたことは評価できる。
(3)次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	コロナ禍の中で減少した利用者・売上を回復するために、令和4年度から実施している組合の財務状況改善の取組を引き続き行い、現状分析・課題把握した上で売上獲得に向けた事業実施が急務である。地域内の体験事業者と連携し、山北全体で誘客に取り組む体制づくりを行うことや、積極的な情報発信やイベント・キャンペーンの事業実施など、地域活動の交流拠点施設として、身近で利用しやすい施設運営をさらに推進していくことを期待します。